

あさか子どもプラン 平成25年度進ちょく状況

(朝霞市次世代育成支援行動計画)

市では、子育て支援に関する今後の取り組みの方向を示すものとして、「あさか子どもプラン 朝霞市次世代育成支援行動計画 後期計画」を策定し、朝霞の子どもたちが健やかに安心して育つよう、平成22年度からこの計画を推進しています。ここでは、平成25年度の進ちょく状況を公表します。

【施策の展開】

子ども・保護者・地域の3つの大切な視点を踏まえ、
「すべての子育て家庭を応援しよう」
「子と親が自ら学び、育つ力をはぐくむことを応援しよう」
「子どもが安全に育つ、安心なまちにしよう」
 を基本目標として、プラン実現に向け推進しています。

【重点項目の取り組み】

プラン中の192事業のうち、13事業を重点項目として、平成25年度末の現状と平成25年度の取り組みの成果をお知らせします。
 ※重点項目とは、目標事業量を設定し、計画的に取り組んでいる事業です。

前期計画から継続する重点事業

1 子育て支援センター事業

現状：9ヶ所設置(継続)
成果：公設民営の子育て支援センター(1か所)を新設したほか、公営の子育て支援センター(2か所)の運営および民営の子育て支援センター(6か所)への支援を行いました。
 事業の参加者数(公立のみ) 10,457人
 相談者数(公立のみ) 222人

2 通常保育事業・3 保育園の建設

現状：27園(分園含む)設置(継続)
 定員 1,935人(公設:1,042人 民設:893人)
成果：平成26年4月開園の民設保育園2園の建設を行いました。

4 延長保育事業

現状：全園で午前7時から午後7時までの延長保育および12園(宮戸・仲町・大山・しらこぼと・滝の根・朝霞どろんこ・ゆりの木・ゆりがこ・いずみばし・ひまわり・三原どろんこ・朝霞ひだまりの森保育園)で、午後7時以降の延長保育を実施しました(継続)。
成果：平成26年4月に開園の民設保育園2園と延長保育の実施について協議を行いました。

5 一時預かり事業

現状：4園(東朝霞・さくら・仲町・どろんこ保育園)で一時預かり事業(定員67人/日)を実施しました(継続)。
成果：非定型 延べ3,657人
 緊急 延べ952人 リフレッシュ 延べ953人
 ※非定型…保護者の労働、職業訓練、就学などの理由により、断続的に家庭での保育が困難になる児童を預かること
 ※緊急…保護者の病気、出産、看護、災害、冠婚葬祭など社会的にやむを得ない理由により、緊急・一時的に家庭での保育が困難になる児童を預かること

6 休日保育事業

現状：仲町保育園で休日保育事業(定員20人)を実施しました(継続)。
成果：利用者数 218人

7 病後児保育事業

現状：未実施
成果：朝霞台中央病院と実施に向けての協議をしました。



8 ショートステイ事業

現状：市内里親1家族と契約し、実施しました。(継続)
成果：委託里親数 実績1家族、受入日数 実績3日

9 トワイライトステイ事業

現状：未実施
成果：トワイライトステイ事業としては未実施であるが、ファミリー・サポート・センター事業の中で午後7時以降の預かりを実施しました(延べ1,047件)。
 ※トワイライトステイ…保護者が仕事等のため平日の夜間または休日に一時的に子どもを預かること

10 あさか子育てガイドブックの発行

現状：発行(継続)
成果：子育て支援情報誌を改訂しました。また、こども未来課、総合窓口課、健康づくり課、朝霞台出張所、朝霞駅前出張所、内間木支所で配布およびインターネットからダウンロードできるように市ホームページに情報誌を掲載しました。

11 児童館の設置

現状：5館設置(継続)
成果：本町・栄町地区周辺を設置場所と決定し、検討を行いました。

後期計画で新たに重点事業として位置付けた事業

12 放課後児童クラブ事業

現状：10クラブ・20室設置(継続)
 全体定員 1,184人 入所者数 879人
成果：浜崎放課後児童クラブの分室を建設するため設計を実施した。

13 家庭保育室補助事業

現状：23か所(継続)延べ入所者数 4,301人
成果：待機児童数および利用者数を勘案しながら、家庭保育室23か所を指定し、施設に対する運営費の補助および保護者に対する保育料負担軽減費補助を行いました。